

大阪大学
歯技会 **会員だより**

[発行所] 〒565-0871 吹田市山田丘1-8
大阪大学歯学部附属歯科技工士学校同総会

阪大歯技会

URL: <http://www.h-shigikai.org/>
TEL 06-6879-2285

発行責任者 指輪 良平
編集責任者 吉川 昇



新会長には指輪現会長を再選!!

**平成23年度評議員会・総会並びに
第30回技工研究談話会開催**

去る、平成23年6月5日(日)、

府立ドーンセンター(中央区大手前)

において、平成23年度大阪大学歯技会

定例評議員会が行われた。

引き続き第30回技工研究談話会

が開催され、その後、平成23年度大阪

大学歯技会定例総会が行われた。

『会員だより』本号では事業・決算報

告、事業計画・予算案等をまとめて会

員各位にご報告致します。

評議員会は議長に大西正和氏

(第10期)が選出され、

第1号議案

平成22年度事業報告承認の件

第2号議案

平成22年度決算報告承認の件

第3号議案

平成23年度事業計画承認の件

第4号議案

平成23年度予算案承認の件

第5号議案

記念事業開催結果報告

第6号議案

その他(新会長・監事選出)

以上6つの議案が上程された。

**平成22年度評議員会
議事報告**

第1号議案では、平成22年度の事業報告が行われ、技工士学校創立50周年、歯技会発足30周年記念事業の開催、その一環として歯技会のホームページを開設したこと、対外交流として平成22年11月名古屋での技工学会の開催に合わせ、第6回国立歯科技工士学校同窓会連絡会が行われ、同窓会の活動状況について情報交換を行ったことなどが報告され、次回は今年10月



の東京の技工学会にて開催を予定しているとのことであった。

第2号議案の決算報告では、22年度の決算が報告されたが、記念事業からの繰り入れが多くできる結果となったが、その分通常の会費収入が不振であった事が報告された。

このため今年度、引き続き「会費納入率低下の緊急事態宣言」のもとで今後も執行部として同窓会の維持運営のためいっそうの未納解消へ向けた取組みの必要があり、評議員はじめ会員各位の協力をお願いしたいとのことであった。

さらに5号議案で、記念事業の決算の報告がされた。この件は今年1月の記念事業実行委員会にて仮決算として承認されたが、その最終結果としての報告であり、当初の収支予測を上回る収入を頂き、その結果将来の記念事業積立金や歯技会賞基金への繰り入れができたことが報告された。(詳細は33号会誌に掲載予定)また、母校創立50周年という大きな節目の記念として、同窓会からインシユタインの特大使スターを寄贈した報告があった。

(上記写真は贈呈当日のもの)

そして、最後の6号議案では現執行部の任期終了に当たり、新会長・監事の選出が審議され、満場一致で指輪現会長(21期)と森現監事の留任を、そし

「下頁より続く」
て現相談役の渡辺克美氏（16期）
を新監事として選出した。

会長挨拶

大阪大学歯技会会員の皆様にお
かれましてはご健勝にてご活躍のこ
ととお喜び申し上げます。

平素は同窓会に対しご理解とご
協力を賜り厚くお礼申し上げます。
去る3月11日に、東日本を襲った
観測史上最大の大地震と大津波で
被災された皆様に心よりお見舞い申
上げます。またお亡くなりになら
れました方々に衷心よりお悔やみ
申し上げます。そして一日も早い復
興が叶いますことをお祈り申し上げ
ます。また、昨年の母校創立50周
年・歯技会発足30周年記念事業に
おきましては、皆々様のご支援、ご
協力のお陰で、成功裡に終えること
ができました。改めてお礼申し上げ
ます。

この度、同窓会会長職を引き続き
拝受することとなり、その重責を痛
感しております。

これまで先輩諸氏が築いてこられ
た伝統と実績は、阪大歯技会のDN
Aとして今後も脈々と語り継がれる
ことと確信いたしております。



さて、平成23年度の事業計画も先
の評議員会・総会にて承認をいただき
ました。今後も同窓会の基本理念・基
本方針を念頭に置き、役員事業・委員
会事業を積極的に進めてまいります。
さらに、若い人材を広く登用すること
によって、同窓会運営の活性化を図
り、将来に向けての磐石な基盤を築き
たいと思っております。今一度新鮮な
気持ちでスタート出来ればと考えてお
ります。何卒、皆様方のお一層のご
助言、ご指導を賜ります様よろしくお
願い申し上げます。

同窓会の財政は引き続き大変緊迫
しており、執行部としても効率化と経
費削減に努めております。どうかご理
解の上、未納会費のある方は早急にお
振込みお願いいたします。

（分割でも結構でございます）
最後に会員皆様のご健康とご発展
を祈念し、甚だ簡単ではございますが
ご挨拶とさせていただきます。

第30回技工研究談話会 並びに新入会員歓迎会

評議員会後に、第30回技工研究
談話会が行われた。

ここ数年、歯科技工が変革期を
迎えているとの観点から、現状は
勿論として、今後歯科技工がどの
ような方向で進んでいくのかを考
える場が必要と考え、演者として
の横田功一氏（デンツプライ三金）
をお招きし、『歯科市場から見た歯
科技工士の現状と今後の展望』と
題して行われた。氏はマーケティング
を調査することは、商品やサ
ービスの流れを導くことに通じて
おり、その時代の流れの早さや方
向を見極めるために大変重要であ
ると説明した。

昨今、CAD/CAMの技術的
進歩に伴うシルコニアへの期待が
大きくなっている。これはCAD
/CAMが技工士の仕事を奪うの
ではなく、人間でしかできないこと
を人間が行う、いわゆる“共存”と
いう考えが必要であると述べた。

また過去数年は、フルキャスト
クラウンからセラモメタルそして
オールセラミックスと、完全なメタ
ルフリーへ時代は動いていくと考
えていたが、ここ最近の動向では、

シルコニアとメタルが共存するであ
ろうと述べた。その背景として、取
扱いが簡単なコバルトクロム合金の
開発や、シルコニアの欠点として鑢
付技術による修理が不可能であるな
どの理由を挙げた。

新技術が開花しその方向へ完全に
推移していくと思っても、そこ
には市場というものがあり、それ
によって需要が成り立っていること
も考え合わせ、今後の歯科技工の
方向性を予測する必要があると思
った。

談話会・総会の後、会場近くの居
酒屋「くねんぼ」に場所を移し、新
入会員歓迎会が行われた。矢谷学校
長の御参加もあり、同窓会と母校が
新卒者と学生を交え、楽しく有意義
な交流のひとときを過ごした。



平成 22 年度事業報告

- 1、阪大歯技会誌 32 号の発行
- 2、健全で公平な財政運営
- 3、会員親睦の推進
- 4、対外交流の継続
- 5、人材の発掘

■役員行事

- ・第 6 回国立歯科技工士学校
同窓会連絡会
平成 22 年 11 月 7 日
於・名古屋技工学会会場

- ・技同協移動理事会
平成 23 年 2 月 5 日

■委員会事業

- 【学術】【福祉】
・第 29 回技工研究談話会
・新入会員歓迎会

於・インパールディポイント

平成 22 年 5 月 16 日

【広報】

- ・会員だよりの発行
平成 22 年 6 月
- ・大阪大学歯技会誌第 32 号発行
平成 22 年 12 月

【会計】

- ・会費徴収の推進「会費納入率低下の緊急事態宣言」継続

【組織】

- ・会員名簿の発行 平成 22 年 12 月

平成 23 年度事業計画

《基本理念》

大阪大学歯技会は、永続的な同窓会の運営を目指すため、それぞれの分野の特性と能力を十分に活かしつつ、相互連携の強化を図り、同窓会に貢献する。そのために組織の活性化の強化に取り組み、「人材育成」を促進させる。

その結果会員全体の「集う」ことが発生し、「同窓会運営」に大きく貢献するものと考えている。そして以下の基本方針を定め、実行する。

《基本方針》

- 1、大阪大学歯技会会誌 33 号発行
- 2、学術活動の充実
- 3、健全で公平な財政運営
- 4、会員親睦の推進
- 5、対外交流の継続
- 6、人材の発掘
- 7、歯技会ホームページの充実

■役員事業

- ・第 7 回国立歯科技工士学校
同窓会連絡会
平成 23 年 10 月 2 日
於・東京・タワーホール船堀

- ・技同協移動理事会
平成 23 年 6 月 25 日

お知らせとお願い

①『平成 24 年度 技工研究談話会

発表演題公募と会員の学術業績報告について』

*平成 24 年 6 月予定の技工研究談話会にて発表の演題

テーマ) 歯科学全般とその周辺学識

選考) 募集が多数の場合は学術委員で選考します。

締め切り) 随時受け付け

*会誌 33 号掲載の学術業績

締め切り) 会誌用学術業績は 8 月末まで)

連絡先) 学術担当理事までお問い合わせ下さい!!

■委員会事業

- 【学術】
・第 30 回技工研究談話会
於・府立ドーンセンター
平成 23 年 6 月 5 日

【福祉】

- 新入会員歓迎会
於・居酒屋「くねんぼ」
平成 23 年 6 月 5 日

【広報】

- ・会員だよりの発行
平成 23 年 7 月
- ・歯技会誌第 33 号発行
平成 23 年 12 月

平成 23 年度

新入会員名簿

掲載省略

平成22年度決算報告書
平成22年4月1日～平成23年3月31日

*一般会計の部

収入の部			支出の部		
項目	予算額	決算額	項目	予算額	決算額
会費	1,950,000	336,000	需要費	180,000	20,649
(当年度分)		(222,000)	(事務費)	(70,000)	(11,569)
(過年度分)		(114,000)	(通信費)	(100,000)	(9,020)
事業収入	420,000	405,802	(印刷費)	(10,000)	(60)
(広告料)	(400,000)	(0)	運営費	150,000	94,134
(技研談話会)	(20,000)	(24,000)	(会議費)	(50,000)	(58,560)
(懇親会費)	(0)	(48,000)	(渉外費)	(30,000)	(0)
(記念事業より繰入)		(333,602)	(交際費)	(70,000)	(35,574)
雑収入	50,000	21,744	事業費	1,400,000	450,630
(受取利息)		(93)	(学術)	(100,000)	(10,000)
(代理店料)		(21,651)	(広報)	(800,000)	(276,425)
繰越金	809,083	809,083	(福祉)	(100,000)	(125,100)
			(組織)	(250,000)	(39,000)
			(会計)	(150,000)	(105)
			予備費	1,499,083	0
			繰越金		1,007,016
合計	3,229,083	1,572,429	合計	3,229,083	1,572,429

平成22年度決算報告書
平成22年4月1日～平成23年3月31日

*会費会計の部

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
繰越前納会費	434,000	当年度会費	222,000
当年度徴収会費	260,000	過年度会費	114,000
利息	561	次年度以降会費	358,561
合計	694,561	合計	694,561

*歯技会賞基金の部

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
繰越金	435,298	歯技会賞	17,750
記念事業からの繰入金	350,000	卒業生記念品	13,000
		次期繰越金	754,548
合計	785,298	合計	785,298

*記念事業積立金の部

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
繰越金	500,000	記念事業運営費	502,080
記念事業からの繰入金	600,000	次期繰越金	600,000
利息	2,080		
合計	1,102,080	合計	1,102,080

監査報告書

大阪大学歯技会 会長 指輪 光良 殿

平成22年度の会務執行状況及び一般会計、会費会計、歯技会賞基金の収支状況について書類照合の結果、問題なく処理されていることを報告致します。

平成23年 3月 26日

田中 淳 三
森 正文

会計からのお願い

～会員の皆様へ～

平素より会費徴収にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

さて、同窓会では安定かつ永続的な運営のため、健全財政の推進を掲げ会費納入率の向上を目指しています。未納会費のある会員の方は会費の趣旨をよくご理解いただき、一日でも早く完納をお願いいたします。

《郵便振込先》

大阪 00950-5-56805

<会費年額> 2,000円

住所・氏名・期別を明記してください。

※ 振込用紙は歯技会誌後ろにも綴じ込んでいます

(第4号議案)

平成23年度予算

平成23年4月1日～平成24年3月31日

*一般会計の部

収入の部		支出の部	
項目	予算額	項目	予算額
会費	1,976,000	需要費	180,000
(988名)		(事務費)	(70,000)
		(通信費)	(100,000)
事業収入	420,000	(印刷費)	(10,000)
(広告料)	(400,000)	運営費	150,000
(談話会費)	(20,000)	(会議費)	(50,000)
雑収入	50,000	(渉外費)	(30,000)
(代理店料)	(50,000)	(交際費)	(70,000)
繰越金	1,007,016	事業費	1,400,000
		(学術)	(100,000)
		(広報)	(800,000)
		(福祉)	(100,000)
		(組織)	(250,000)
		(会計)	(150,000)
		予備費	1,723,016
合計	3,453,016	合計	3,453,016